音Ⅰ 310

MOUSA 1

ムーサ

平成29年度 高等学校教科書　音楽Ⅰ

27教芸（平成29教　内容解説資料）

目次

MOUSAについて……2
紙面構成……3
歌唱……4
器楽……8
創作……10
鑑賞……11
資料……14
年間指導計画例……16
指導書について……18
検討の観点別に見た特色……19

教育芸術社

MOUSA（ムーサ）について

＊

私たちの生活と音楽の関わり方が時代とともに変化していく中で，MOUSAもそれに適合するよう改訂を重ねてきました。平成29年度から使用されるMOUSA 1では，教材，表記，参考図版，レイアウトなど，全ての内容を徹底的に見直しています。言語活動を促す際には，活発な意見交換が行われるように，提示する箇所や内容が適切かつ具体的であるかなどにも配慮しました。また，「アクティブ・ラーニング（主体的な学び）」の重要性が問われる今日，音楽科でどのように取り入れれば生徒たちがその本質に触れることができるかを考えながら，紙面へと反映させていきました。

このように時代の変化に伴いMOUSAは進化し続けておりますが，コンセプトは一貫しています。それは，**生徒たちが卒業後も手元に残しておきたいと思える教科書**にするということです。このコンセプトの下，教材一つを見直す際にも，単に定めた学習内容のためだけに教材を選ぶのではなく，その教材が「生徒の心を動かす音楽」であるかどうかを第一に考え，より深みのある教科書へと生まれ変わりました。

紙面構成

MOUSA 1では，「具体的にどのような活動をして，何を学ぶのか」を紙面ごとに明確に示しました。
また，生徒が主体的に楽しく学ぶことができるように，各紙面にさまざまな工夫を凝らしています。

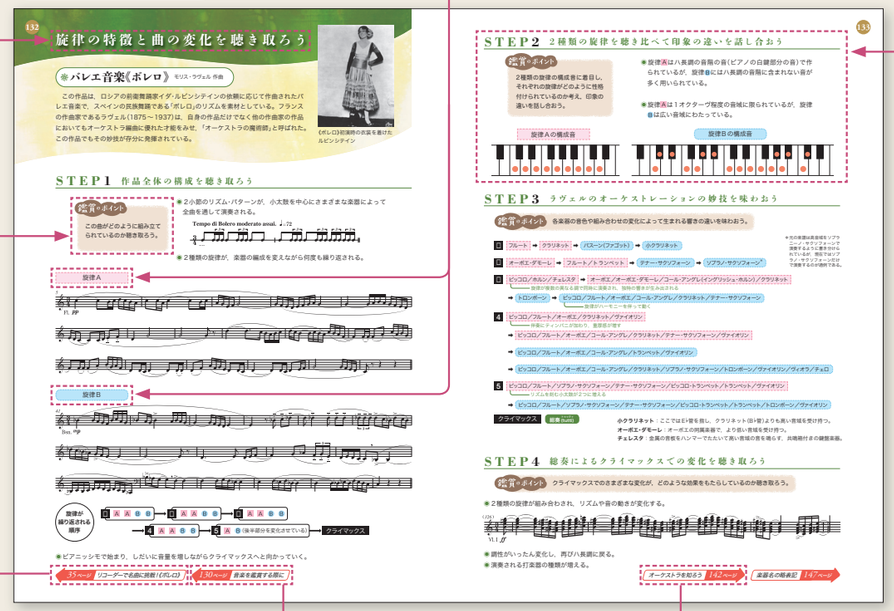
教科書紙面の一例

ユニバーサルデザインに配慮した表示

鑑賞の学習内容

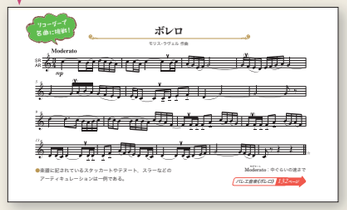
着眼点を具体的に明示

適切な箇所で具体的に提示した言語活動



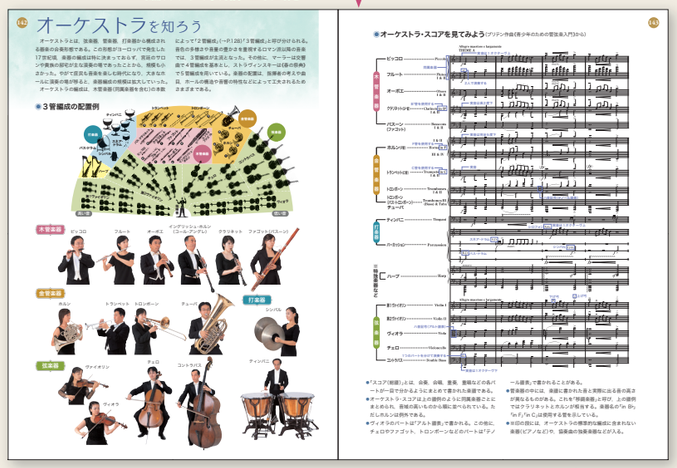
（P.132・133）

鑑賞曲の旋律をリコーダーで演奏



（P.35）

オーケストラの編成や楽器を確認



（P.142・143）

音楽を形づくっている要素について分かりやすく解説

（P.130）

学習活動をサポートする資料や，表現と鑑賞を深めるための教材などへ適宜リンクを張っています。また，教材によっては歌唱，器楽，創作，鑑賞のそれぞれを関連付け，音楽の能力が確実に定着するようになっています。